

東京アンテナショップ（あきた美彩館）の 現状と課題について

令和5年5月8日
食のあきた推進課

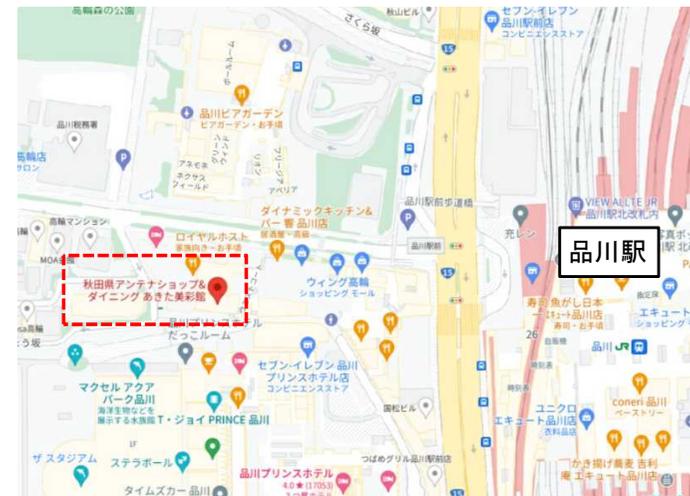
概要

(1)概況

- オープン :平成20年5月
(平成22年3月 リニューアルオープン)
- 場 所 :東京都港区高輪4丁目10-8
ウイング高輪WEST-Ⅲ 1階
- 営業時間:11:00 ~ 23:00
【ダイニング(飲食部門)】
ランチタイム 11:00~15:30(ラストオーダー 14:30)
ディナータイム 17:00~23:00(ラストオーダー 22:00)
- 店休日 :年中無休(元日のみ休み)
- 運営主体:株式会社秋田ニューバイオファーム
- 従業員数:計43人(うち プロパー社員13人、アルバイト30人)
※令和3年度末



あきた美彩館入口



あきた美彩館の立地

概要

(2)設置目的

秋田の認知度向上を図り、県産品の販路拡大と秋田への観光誘客に結びつけるため、秋田県と首都圏の方々等との「コミュニケーションの場」として、首都圏の方々等に対して秋田を知ってもらうための機会と、県内の市町村、農林商工団体、事業者等に対して地域や県産品等に関する情報を受発信するための機会を提供する。

【あきた美彩館の有する機能】

●発信機能

- ・商品の販売や飲食の提供を通じた首都圏における県産品の販路拡大
- ・秋田の「食」「物産」「観光」を一体的にPRすることで、県産品の認知度向上とブランド化を推進する拠点
- ・本県の魅力を「まるごと体験できる機能」を発揮し、そこに行けば「秋田を味わえる」「体験できる」店舗を展開

●受信機能

- ・県産品の販売や飲食の提供を通じた首都圏マーケット情報の収集
- ・収集した首都圏マーケット情報等の県内事業者へのフィードバック

概要

(3)物販部門

①商品の選定基準

- 県内事業者が生産者または製造者であること。
- 県内事業者が販売者である加工食品の場合、県産農林水産物を活用した商品であること。
- 各種表示制度、食品衛生法等による定めを遵守した商品であること。
- 消費者の安全・安心志向に沿った商品であること。
- 取引条件(仕入・支払・ロット等)で双方の合意が得られること。



店内(物産部門)

②商品アイテム数 約1,100アイテム(令和3年度末)

【アイテム数の内訳】

	菓子	食品	酒	工芸品	その他	計
アイテム数	233 (21.4%)	421 (38.6%)	266 (24.4%)	105 (9.6%)	66 (6.0%)	1,091

※「その他」:化粧品、Tシャツ、書籍、お面等

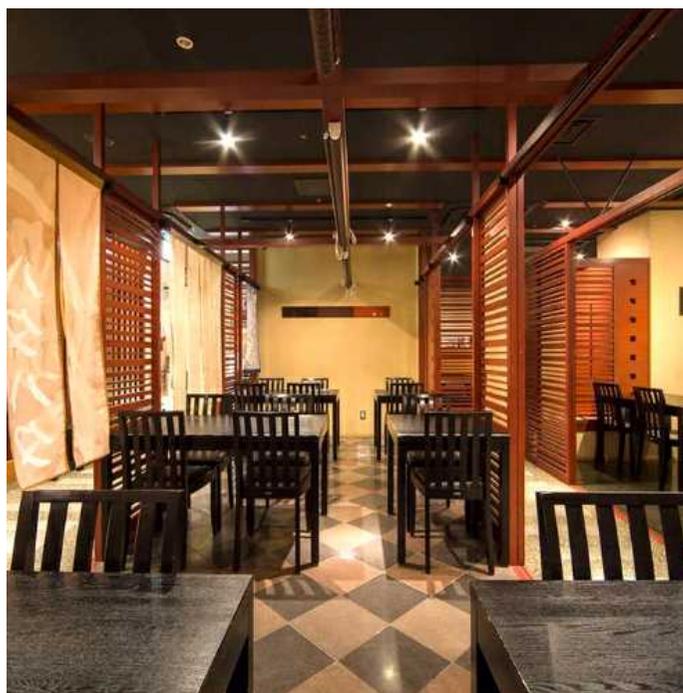
③通信販売(あきた美彩館アンテナショップ)

- 開設 :平成24年12月
- 取扱商品アイテム数:69アイテム(令和3年度末)
- 売上高:令和元年度153千円、2年度703千円、3年度129千円

概要

(4) 飲食部門

- 店内全74席。秋田杉の間、かまくらの間、なまはげの間の3つの飲食空間と、テーブル席を用意。
- 提供メニューは、秋田ならではの稲庭うどん、きりたんぽ、はたはた、比内地鶏、いぶりがっこ、日本酒等。
- 日本酒飲み放題の「酒っこフェスタ」、秋田牛のメニューを提供する「にくの日」等のイベントを毎月実施している。
- コロナ禍で休業や時短営業を余儀なくされ、令和4年3月以降は22時までの営業となっている。



店内(飲食部門)

日本三大うどん 稲庭うどん

★ うどん大盛り +200円

追加トッピング
 ◎ ミニ地鶏 丼 +670円
 ◎ がっこご飯 +320円
 ◎ 海老・野菜天ぷら +450円
 ※ランチメニューご注文のお客様に限ります
 ※ 冷たいうどんのタレは2種類です(しょうゆ・ごま)

おすすめ
 稲庭うどん・ミニ地鶏 丼 1,770円

稲庭うどん 1,100円 稲庭うどん・海老・野菜天ぷら 1,550円 稲庭うどん・がっこご飯 1,420円

秋田の昼めし

表面もご覧下さい!

きりたんぽ鍋 小うどん・ご飯・小鉢2品・サラダ・がっこ付 1,680円

比内地鶏 丼 小うどん・小鉢・サラダ・がっこ付 1,600円

日本三大美味鶏 比内地鶏

★ ご飯大盛り +100円

あきた〇ごと鍋 小うどん・じゅん菜・がっこ付 2,230円

秋田のブランド豚! 八幡平ポーククロスカツ鍋 小うどん・がっこ・小うどん付き 1,600円

女八幡平ポークの特製+季節性が強く、柔らかく、きめ細やかな日本食にあった肉質の美味しい豚肉です

温 ※うどんは温かいものにも変更出来ます

秋田の母屋「はたはた」
 はたはたカツ丼がより美味しくなりました!!
 あんかけ はたはたカツ丼 小うどん・サラダ・がっこ付 1,330円

ランチメニュー

概要

(5)各種契約について

①建物賃貸借契約について

- 契約期間:令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)
- 賃貸人:(株)京急百貨店
- 構造:鉄骨鉄筋コンクリート造り 地上1階
- 賃借面積:323.26㎡(97.79坪)
- 賃料等:賃料 3,422千円(月額)
看板代 1,980千円(年額)

【契約期間の考え方】

これまで、集客対策や販売拡大などを計画的に行うことができるよう契約期間を5年間としてきたものの、コロナ禍以降のニーズの変化や品川駅周辺の再開発の状況を見ながらアンテナショップの機能やあり方について検討するため、3年間の期間としたもの。

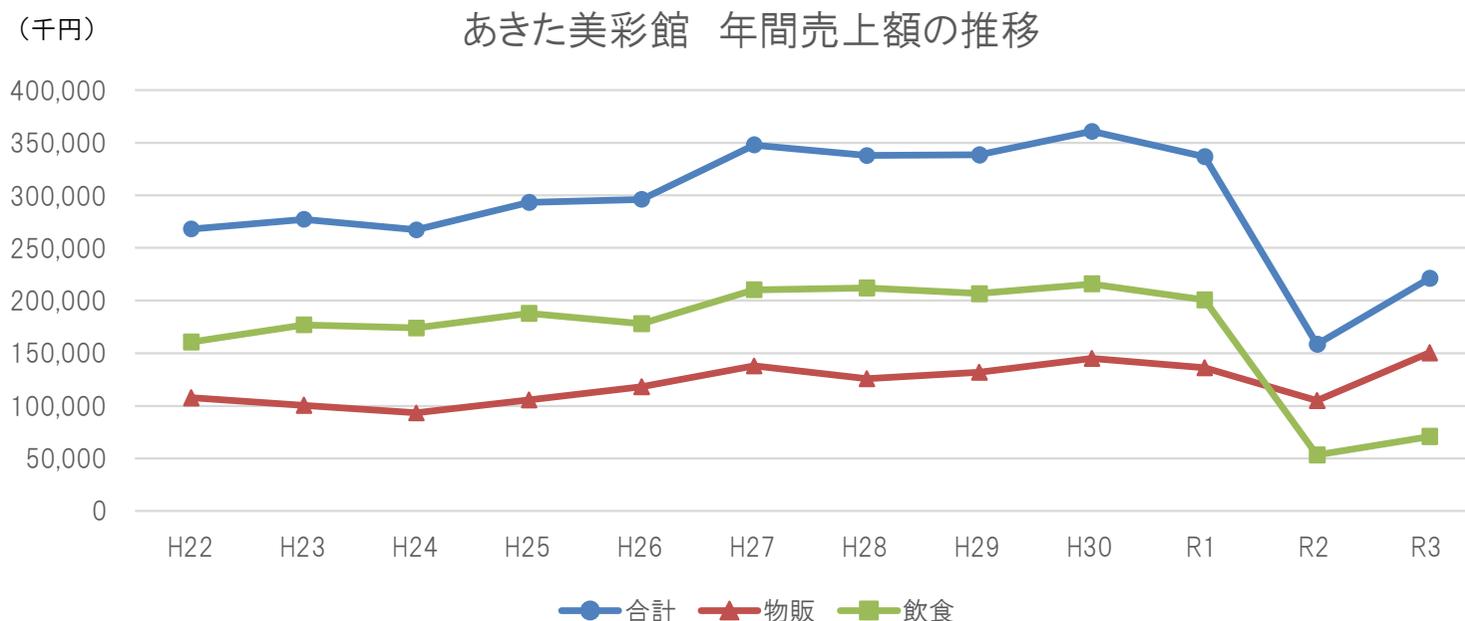
②管理及び運営業務委託契約について

- 契約期間:令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)
- 委託事業者:(株)秋田ニューバイオフーム
- 運営事業者負担額(月額):負担金 1,343千円
広報費等 物販部門の売上高の5%

各種実績

(1) 売上額の推移

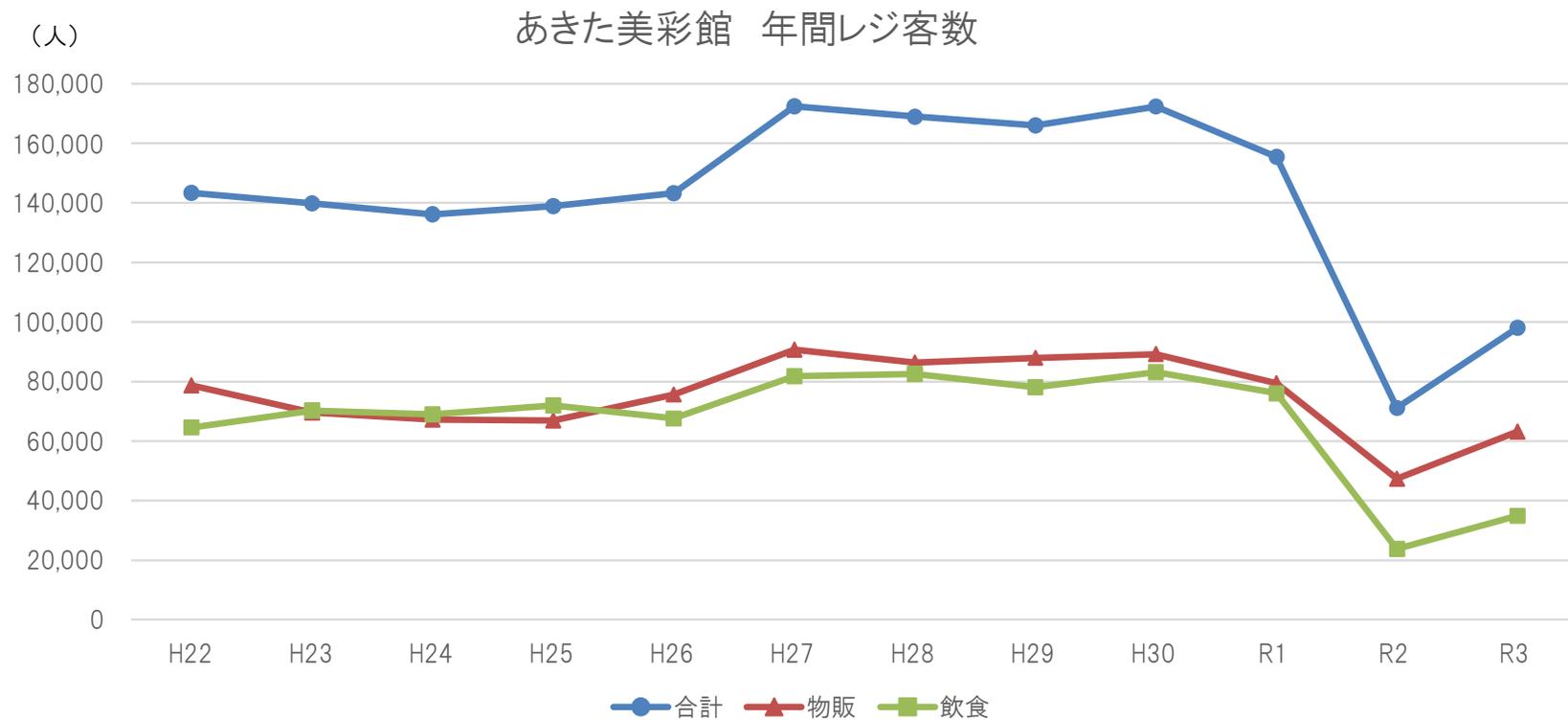
- これまで県産食材等を使用した飲食の提供や県産品の販売、イベントの開催等を通じ、「秋田」の情報発信に一定の役割を果たしている。「まち子姉さんのごま餅」「なまはげのおくりもの」などの定番商品化や、「バター餅」「ギバサ」「日本酒」などの認知度や売上げも向上。
- リニューアルオープン以降、売上高は緩やかな増加傾向にあったものの、コロナ禍前の平成30年度(3.6億円)をピークに大幅に落ち込んだ。
- コロナ禍以降は、令和2年度で約1.6億円(H30の約5割)、令和3年度で約2.2億円(H30の約6割)。
- 物販部門の売上は回復傾向にある一方、飲食部門はコロナ禍以前の水準には戻っていない。



各種実績

(2)レジ客数

- 平成27年度及びコロナ禍前の平成30年度(約17万人)がピーク。
- コロナ以降は、令和2年度で約7万人(ピークの約4割)、令和3年度で約10万人(ピークの約6割)。



各種実績

(3)秋田県産品テスト販売制度

- あきた美彩館、秋田ふるさと館など5カ所で新商品をテスト的に販売する制度。
テスト販売終了後には、実施店舗から消費者の反応や販売するうえでの改善点等を伝えるシステム。
- 令和2年度以降、コロナ禍以降件数が減少していたものの、令和4年度はコロナ禍前と同等程度まで増加している。

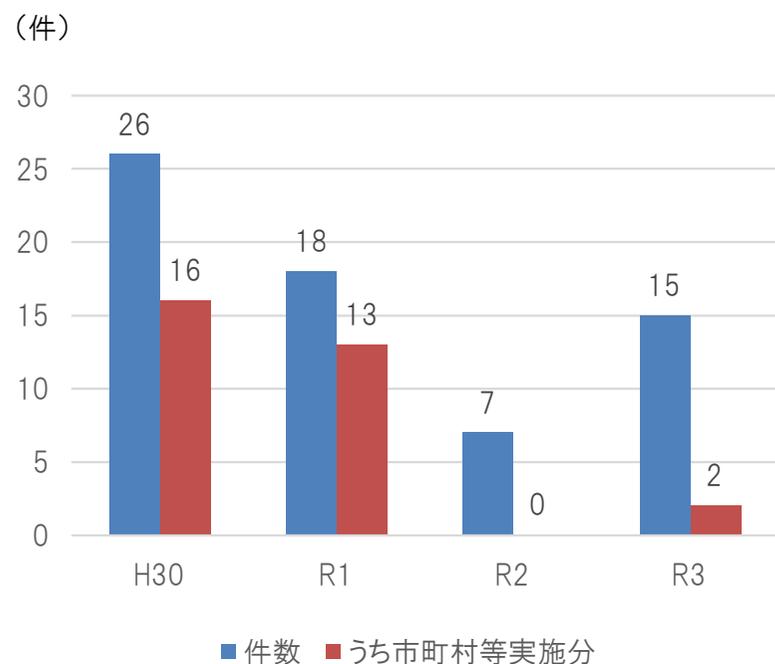
年度	テスト販売実施総数		あきた美彩館実施分	
	事業者数	商品数	事業者数	商品数
H29	17	34	15	32
H30	23	39	18	30
R1	18	28	16	24
R2	4	5	3	4
R3	9	15	9	15
R4	20	37	19	35

各種実績

(4) イベント等の実施状況

- 店舗前広場を活用したイベントは、平成30年度に26件開催していたが、コロナ禍を契機に減少し、令和3年度では15件。
- 市町村等との連携により観光・物産のPRイベントも実施しているものの、積極的な活用状況には戻っていない。

店舗前広場の農商工団体、県内事業者等による活用状況



あきた美彩館 春まつりの様子

課題

- 店舗の立地場所
 - ・現店舗は路面店でないことから、フリーで立ち寄る客が少ない。
- アンテナショップの活用促進
 - ・市町村や商工団体等のPRの場としての活用促進が必要。
- 幅広い客層の拡大
 - ・若い世代や親子連れ、外国人など様々な客層の誘導に向けた取組が必要。
- 高質感のある付加価値の高い商品づくり
 - ・首都圏では、高質感・付加価値のある商品が求められるが、県産品の訴求力が弱く、爆発的な人気商品が少ない。
 - ・テスト販売は実施しているものの、実施事業者以外に対するニーズ等のフィードバックが十分でなく、県内事業者全体の商品力の底上げに結びついていない。
- 民間事業者との連携
 - ・秋田ゆかりの飲食店や誘致企業等と連携しながら、効果的に秋田を発信するような取組が必要。
- ワクワク感の演出
 - ・イベント期間以外でも、何かしらの新しい体験・発見があるような期待感を持たせる運営ができていない。
- 観光及び移住・定住情報発信拠点としての機能強化
 - ・現状では、パンフレット配布に留まっており、「情報発信拠点」としてアンテナショップに求められる基本的機能の強化を図る必要がある。